いわき民報

發行所
平市田町48　電381・176　1222
いわき民報社
編集兼發行印刷人　田原　登

小名濱港埠頭入口
港の殿堂
大衆向料理輕食酒場
ハトバ荘
社交ダンス各種團体集會用
ハトバホール

大竹候補の應援に 鈴木勞働大臣來平

十八日　郡市で應援演説會

知事選擧もいよ〱終盤戰に入り中野候補は辭退したので、大竹、鈴木、平田の三人で激戰は展開されているが民自黨では最後の追込戰に勞働大臣鈴木正文氏が大竹作彌候補の應援の爲十七日午後九時四十七分同夜は關内代議士宅に一泊、十八日は左の日程で郡部は七箇所にて街頭演説會を開き平市は午後六時から公會堂日本間で夫々應援演説會を開催するが同大臣には關内代議士初め縣會議員が同道獅子吼するはずであり今を時めく現職勞働大臣の應援により果然選擧熱は沸騰し各地共非常な盛況を豫想されるに至つた

平は午後六時公會堂

郡下七箇所の遊説日程

□四倉　九時－十時
□江名　十時四十分－十一時廿分
□小名濱　十一時卅分－一時
□植田　二時－二時卅分
□勿來　三時十分－三時四十分
□湯本　四時四十分－五時四十分
□内郷　六時－七時
□平　六時より公會堂

大竹候補の當選期す

町村長會有志で決議

石城町村長會では十六日午前十時半より地方事務所會議室に例會を開き組合病院の運營委員として左の如く委員長以下十名を決定した他高等學校の學區制度につき郡と平を一單位として現行のままにすることを申し合わせた、また今回の知事選擧に對する棄權防止運動の徹底を計ることに關連して會後有志が集り知事候補大竹作彌氏を全幅的に支持當選を期すことを申し合わせ直ちに福島市の選擧本部に打電した

△組合病院運營委員、委員長は會長とし會長決定までは副會長が代行、委員草野寅伊（小川）高木武一郎（錦）山崎辰亥（内郷）鈴木榮一（好間）鈴木正一（高久）阿部宗順（大浦）近藤貫一（江名）蛭田三郎（山田）應援委員鈴木平市長

鈴木候補

今夜演説會

社會黨公認鈴木候補演説會は今十七日午後六時から平市公會堂日本間で開くが辯士は候補者及び松井代議士外幹部

平市にも押掛く

約五十名の失業者

十六日午後三時半ごろ平三中敷地整備に來ていた内郷町の日雇勞務者約五十名が賃金問題で市役所土木課に押し寄せ課長不在の爲山崎失業事業擔當者と約四十分に亘つて應答した理由は支拂賃金が内郷に較べて十円安く百七十四円である事、日拂制でないため（現在五日毎）支給日にはわざわざ旅費を使つて來なければならないとの二事項で應答の結果失業者側から職安所側を變えた協定を希望した爲一行は職案所に押しかけたがここでも所長不在のため結局もの分れとなり仝四時半に引きあげた

知事選投票所

市内は五箇所で

來る二十二日施行される知事選擧の平市投票場は昨年十二月の參院補選と同じく午前七時から午後六時まで左の五ヵ所で行う

△第一投票所（公會堂）一－三、五－七、十一－十三、二十八の各區▽第二投票所（三小講堂）八－十、十六、二十二、二十六、三十五、六の各區▽第三投票所（才槌小路二小分校）四、十四、五、十三、二十五の各區▽第四投票所（二小講堂）十六、七、二十四、二十七、三十二－三十四の各區▽第五投票所（四小）二十九－三十一の各區

柔道と逮捕術訓練

十六日から一般にも傳授

石城柔道協會では十六日から一週間平地區署柔道で柔道及び逮捕術の訓練を行うことになつた、時間は毎日午後三時から一時間半の豫定で敎師は同協會敎師阿部文平、平市署伊藤警部、平地區署鈴木德一の三氏、なお同協會では一般人の參加を希望している

砂糖配給の姙婦檢診

郡下は十七日から

平市内の乳兒用砂糖配給に關する檢診は十五、十六の兩日平保健所で行つた郡内の檢診は十七日から二十日まで四日間左の方部別に實施する（括孤内は檢診場所）

◇十七日内郷地區（内郷町淺野記念館）◇十八日勿來植田、山田村、川部、錦、泉（植田町國保診療所）◇十九日小名濱、江名、高久豐間、鹿島（江名町國保診療所）◇二十日湯本町磐崎村（湯本自治會館）なお姙婦は（診察梅毒反應尿の蛋白檢査）終了者に姙婦砂糖の券を渡すことになつている、受配方法は市内と同じ

棄權を防ぎましよう

學校の生徒が宣傳する

平市選擧管理委員會では十七日午後一時から市役所全會議室に市内小中學校長と知事選擧に對する啓蒙運動の打合會を開き左の如く生徒を通じての棄權防止策を協議した

1選擧前日の二十一日には夜廻りの方法で棄權するなと呼稱しながら町内を廻らせる、2選擧當日は父兄達に對して必ず投票に行くように懇願させる3、選擧當日在校生に調査票を渡して家族の投票の有無を調べさせる

なお同會では十八日午後一時から仝室に各區の事務囑託員を集めて啓蒙運動の打合せを行う

仲直り宴會で又も喧嘩

内郷町綴無職吉田三郎、同平野恭治の兩名は十六日午後九時半頃酒飲みの席上で喧嘩をはじめ吉田は頭部及び顔面に全治二週間、また平野は下口唇をかみ切られ全治二週間の傷を負つた、原因は昨年十二月初め頃兩名で喧嘩をなし平野は吉田のため手の指を捻挫する傷を負つたが仲に入る人があり十六日仲直りの宴席を設けたがその席上で再びよりを戻したもの

日立の職工の家族

母子心中の身元判る

去る十二日湯本町關船地内金比羅神社裏山及び湯川内で發見された親子三人無理心中の死体に付き湯本町署では身許調査の結果十六日夕刻茨城縣多賀郡多賀町大沼大沼アパート内日立製作所多賀工場職工中澤誠さん（二九）妻キヨ子（二七）長男隆（四つ）二男秀夫（二つ）であることが判明した、誠さんの述べる所に依るとキヨ子とは昭和二十年結婚早々性格の相違から既に破綻の萌しが見え一週間目には別れ話さえ持上つたがその際キヨ子は別れる位なら死ぬと語つて居り、その後子供が産まれるに從いキヨ子の愛情は子供の上にいやが上にも集り常平生死ぬ時は子供と一緒に死ぬのだと口ばしり、また夫婦間の不調和はキヨ子の無口の性格をますます強くし最近二ヵ月間は神經衰弱氣味で問題の十一日當日は午後一時半頃出勤する夫を送り或いは實家に歸ることがあるかも判らないから鍵を持つて行きなさいとか、辨當の外に三食分のおかずを作つて戸棚の中に入れて置くから一時に食べないようにとか不審な言葉を殘し二時半頃家を出たものである

杉林を種に詐欺を働く

兩名を檢擧

平自治署では十六日茨城縣多賀郡南中郷村ブローカー松本博行（三三）小川村上小川材木商中野谷實（三六）の兩名を私文書僞造行使詐僞容疑者として檢擧した

前記兩名は昭和二十三年十二月中旬ころ共謀、小野新町材木業小林金卅紋（六七）さん所有の杉林を小林さんの友人小野新町調劑業吉田秀隆（五八）さんを強迫吉田さんが小林さんから杉林一千石（時價三十万円相當）を買收した如く私文書を僞造させ二十三年十二月三十日平市堂の前常磐石炭助成株式會社（取締役社長松本榮一氏）にその私文書を賣却したもので、同會社が昨年十二月ころ伐採に取かかろうとしたところ私文書僞造とわかり十二月十四日この兩名を告訴したものでなおこの種の余罪が相當あるものとみられて目下取調中である

阿部唯次郎翁

平市四丁目伊勢屋商店阿部唯次郎翁は十六日午後七時三十分死去、享年八十二、葬儀は一月十八日平市性源寺で行う

阿部翁は先代諸橋久太郎氏の次男（釜屋當主の伯父）に生れ、阿部家へ養子に入り、町會議員一期、所得税調査委員など選任され、家業に熱意をもつた方であつた

銘仙類
毛織服地
婚禮衣裳
税なしの新安價品を豐富に取揃えました
●御來店をお待ち致します
衣料品の店　かみや

天氣予報　十七日

【今晩】北寄りの風晴れたり曇つたりの天氣から次第に悪くなり夜半過ぎ頃から小雪か小雨となるでせう【明日】北寄りの風曇りで小雨か小雪模様の天氣、夕刻頃から北西の風やゝ強くなり天氣は良くなります海上は今夜半から明日一ぱい波立ちますから漁船は御注意願います

各車輛で大福引景品（空籤なし）
暖房装置完全直通臨時列車の旅！

成田山初詣
水戸觀梅（歸途三月一日）
600名
團體募集

時期　二月二十八日（火）平發前八、二〇　成田着後一、二〇（一泊）
三月一日（水）成田發前一〇、〇〇　水戸着後二、〇〇（觀梅）　水戸發後四、〇〇－平着後七、〇〇（解散）
會費　一、二〇〇円　申込金二〇〇円共
大護摩料、御札、内佛殿寶物館拜觀料、電車汽車賃、宿泊料、雜費を含む

余興　各車輛で福引（一等一級銘酒、二等二級銘酒－五等まで空くじなし）
持參　出發當日晝食、主食五合、毛布一枚
申込〆切　二月二十日まで【滿員次第締切】お早く御申込下さい
申込所　平驛長、日本交通公社平案内所
歡迎　各商店會の新正月賣出し御招待等に御利用の節は特に御便宜を圖ります

主催
東鐵水戸管理部
平驛長
日本交通公社
平案内所
後援　和架路會
成田山世話人

中華料理
華香樓
電七〇二番
そば一ツ料理一品でも早速御届け致します

土地で評判
うき名をちらし
かたく手と手を
にぎり壽司
ちらし壽司を始めました
御利用下さい
平市三丁目四〇
玉壽司
電五七五
出前迅速

阿部唯株式會社取締役阿部唯次郎儀永々療養中の處藥石効なく一月十六日午後七時三十八分行年八十二才を以て永眠致しました生前の御交誼を深謝し紙上にて御通知申上げます

追而告別式は一月十八日午後一時より仝二時迄で長橋町性源寺に於て佛式により相營みます

昭和二十五年一月十七日

平市四丁目
阿部唯株式會社
喪主　阿部岩次
親戚總代　諸橋久太郎

常磐礦業社長　堀江工業前社長　萬年瓦工業前社長
鈴木唯治殿　病氣の爲東北大學中澤内科に入院加療中の處藥石効なく一月十五日午後一時死去仕りましたので生前御交誼を頂いた皆様へ御知らせ致します

尚告別式は十九日午後二時社葬を以て四倉町海岳寺に於て佛式により相營みます

昭和二十五年一月十六日

四倉町原田　常磐礦業株式會社
平市才槌小路　堀江工業株式會社
四倉町原田　萬年瓦工業株式會社
施主　鈴木唯一郎
外　親戚　一同
友人總代　木村清治
諸橋久太郎
眞田義彰

湯本新溫泉御案内

長らく御不自由をお掛けして參りましたが町當局、溫泉旅館組合、關係各位の御盡力により引湯工事が完了溫泉旅館として新發足する事になりました
今後共格別の御引立賜りたく御案内かたがた御願い申上げます

【湯本溫泉】
成田屋
電二〇九番
石川亭
越後屋支店
電一六八番
いせ屋
電一七二番
みどり屋
吹の湯
電一一三番

雪心院　葬儀の際は御多忙中遠路態々御會葬を忝うし其上御鄭重なる御香奠を賜わり御芳志誠に有難く深謝致します
拜趨御禮申上可き處略儀乍ら紙上を以て御禮を申上げます

昭和二十五年一月十七日

平市大工町二六
施主　石澤茂
外　親戚　一同

水産版

本縣主催水産検査所關東ブロック會議は二十四日より二日間飯坂で開く

多くなった海底地震

暮から新年にかけて地震が多く人々を驚かしているがその震源地が殆んど鹿島灘から本縣沖合海底にあるので水産關係者も一層これに關心を寄せている、以下中央氣象台地震課出身の佐藤小名濱測候所長に聞いて見る……

なし崩的の性質で心配はない

鹿島灘地震帶が活動中

先ず最近の地震の記録（十三日まで）を見ると（微震以上を示す）△十二月二十六日五回△二十七日二回△二十八日二回△三十日一回△一月六日一回△十日二回△十二日一回このほか人体に感じなかったものを加えると連日に亘っている、これは戰時中から暫く鳴をひそめていた鹿島灘の地震帶が半年ほど前から活動を始めたからでこゝ暫くは活動期にあるわけ、然し次の諸點から先ず大したこともなく濟むだろうと觀測されている△大きな地震のあったところの附近には今まで殆んど連續的に大きなものがなかった、即ち今市の大地震は鹿島灘地震帶の支派である△最近回數が多いのは今市大震の余波で『なし崩し』の性質であるため順次地盤の安定を伴っていると見られる

然し十二日に起った弱震は小名濱沖四十キロ、深さ二十キロの海底であったが震源地が急に北方へ移ったので注目されたが三陸沖の地震帶も鹿島灘系であるので幾分活動を始めるのは當然だと見られるので大した心配もない、たゞ半年前から活動期に入った鹿島灘地震帶がいつまでその活動を續けるか今まで暫く休止していただけに關心もたれているがその期間については同測候所でも研究調査中にある

◇◇◇◇◇◇◇

漁船は沖へ避難せよ

△…港內繫留はむしろ危險

津波警報が發令の場合

地震と津波―密接な關係はあるが今回の性質は前記の通りなし崩し的なものであるため大して心配はない、縣下の津波は三陸の大津波の余波を受けたほかは明治以前にあったと言傳られているもののほかはない、それも『風津波』であったらしいのでこの場合は別である、記録から見ると鹿島灘の地震ではその心配はなく三陸沖の地震では津波を起している

同測候所では大きい地震のあった場合でも津波警報が出ない間は心配ないしその場合でも漁船は港內に繫留しておくより沖合へ避難させた方が安全であると注意している、その場合沖合ではウネリが激しい程度で濟むからである

なお現在まで津波警報の發令は一回もなく『津波の心配がない』旨の豫報を出したことが一回のみである

共盛丸延繩 出漁は來月

縣指導船共盛丸（百二十八トン）は十四日最後のサンマ漁に茨城縣沖合に出向き歸港後は延繩の出漁準備を整え來月から近海マグロ漁に出る豫定

このため水産試驗場安達場長は延繩資材購入のためほん走中だが今月中には間に合わせる豫定で進めている

一方同水試漁ろう部では既報の如く今回のサンマ漁の結果に基いて最後のサンマ漁場速報を作成する

生徒募集

小名濱水産高校

本縣水産界の中堅幹部を養成する縣立小名濱水産高等學校では次の要領で生徒募集する（募集人員）△漁ろう科四十名、製造科四十名（うち電氣通信の別科三十名を含む）△漁ろう、製造兩科補缺若干名（入學資格）新制中學校卒業者又は之と同等以上の學力あると認められるもの（青年學校本科一年修了者舊制中學校三年修了者）【願書受付】來月二十日より三月十五日まで

北海道入會の許可船決る

本縣底曳船の北海道入會許可船は次の五隻が決定したこの許可船は十四日から四月三十日まで操業するもので何れも操舵室兩側面から船腹にかけ白色ペイントで塗り下し側面に入會許可番號を一字三十センチ太さ四センチの割で縱に黒色で記入、遠方から見ても許可船であることが判るように入會操業することになっている、數字は許可番號を示す

△一四四番小名濱町馬上忠平氏所有榮陽丸（四四トン九〇）△一四五番小名濱町水野良吉氏所有香取丸（五二トン二九）△一四六番江名町吉田長兵衛氏所有第十長榮丸（五〇トン七二）△一四七番江名町村山孝平氏所有第五榮洋丸（三五トン）△一四八番江名町金成德治氏所有第三日康丸（四七トン八六）

四半期分資材割當決る

農林省縣資材調整事務所主催による漁業資材割當審議會は十六日午後二時から縣水産事務所に開き松井資材調整事務所水産課長、各資材調整事務所出張所長ら及び各漁業會の資材審議委員ら約四十名が出席して昭和二十四年度四、四半期の綿糸マニラ麻の割當及び重油の割當方法を協議した結果、次の如く決定した

【綿糸】本縣の割當數は六千二百五十玉でその內災害その他向けとして九百十五玉、殘りの五千三百三十七玉を大漁業に四千五百三十七玉を振當てその他に八百玉と決定した、大漁業に割當てられた四千五百三十七玉の割當方法は定置に六百四十九玉揚繰に二千百六十玉、底曳一千八十玉、さんまに六百四十九玉と決ったがさんまに割當てられた六百四十八玉はさんま漁も既に終ったのでこれを底曳に廻し、その他の八百玉は二百玉を共盛丸、百玉を定置に

あと殘りの五百玉は小船に振當てることになり多少原案の修正があった

【マニラ麻】一等マニラ麻一万二千二百三十九ポンド二等マニラ麻一万二千二百三十九ポンド、サイザル八万二千四十ポンド、マニラ麻五千ポンド、マニラトワイン六千ポンドの割當を一等マニラ麻の中から江名に災害用として三千八百ポンドを向け殘りを底曳に六万六千八百二ポンド、底置に六千五百十七ポンド、揚繰に五千七百八ポンド、サンマに二千四百四十四ポンドと決め、サンマの分は底曳に向けマニラ麻、マニラトクインの割當一万一千ポンドを小名濱の丸高漁業部に割當てた

【重油】昨年度までは馬力數に對しての基本配給として七十五%、殘りの二十五%を出荷實積に應じて割當てたものが今年度からは基本配給及び出荷實積とも半々に配給することに改正

今度の割當は漁業に重點を置きサンマ漁を底曳きに振向け實質的に能率を計るようにすべく努めた

千代丸救助の裏話

頑張った

縣水試無線局

千代丸轉覆―の第一報を受けた縣水試無線局では十日午後一時から十二日午後三時五十分まで文字通り不眠不休の活動を續け救護本部と救助船團との緊急通信に專念、漁業無線指導局の眞價を發揮して感謝された特に同局では人手不足にもかゝわらず吉川局長以下藤田、松村各通信員は向う八卷姿もたのもしく各船の激勵、鞭たつに努めた、當の吉川さんは

今度の緊急通信として扱ったものは百九十五通にのぼった、放送中は激浪にもまれて作業する救助船のことを思い一身を獻げるつもりで全局員が敢闘した、特に十二日午後三時五十分の最後の放送は『皆さんの努力で千代丸は間もなく母港に歸ります、放送に協力して呉れた各船並に陸上放送局に感謝します、有難うご座いました左樣なら…』と放送したときは感無量で泣けて來ました

と疲も見せず語った

特配油が間に合ぬ

海運局で悲鳴

東北海運局小名濱支局では今回の第一千代丸遭難事件について在港底曳船三十二隻が出動したのに對し救助報告を海上保安署へ提出しその寫を海運局へ出せば救助用油を特配することになっているが然これ程澤山の船團が出たのでは特配油が足りなくなると心配しており結局同船を曳航した共盛丸と明神丸の二隻位が適用を受けることになると見ている、即ち東北海運局の救助用油には自からワクがあり全出動船に特配すれば東北全体の特配油が小名濱で消費して仕舞う計算になるからである

三縣の旋網船長會

來月下旬四倉港で開く

縣旋網漁業協組では舊正月中の來月下旬ごろ千葉、茨城兩縣を加え三縣旋網漁業船長會を四倉港に於て開催すべくこの程通知を出した（日取は近く三縣の役員會が決める）今度の會議では次の二大事項を協議する

その一つは十日から十三日まで水産廳に開かれた全國水産課長會議の席上、機船底曳漁業の整理問題にからんで整理對象船を旋網漁業に轉向させる意見がだい頭したことゝその二は北海道入漁問題である、特に底曳船の整理對象船が旋網に轉換することは同漁業關係者にとってもっとも重大視されるのでこれについては相當活潑な審議が行われる見込みである

なおこの三縣船長會は昨年八月に四倉施網組合主催で開かれる豫定だったがマグロカツオの夏職で各施網船が多忙であった等のため今まで延々となっていたもの

保健所の分室

新年度から小名濱に設置

平保健所では船舶關係の衞生面に力を入れるため小名濱町に分室を新年度の四月ごろから開設することになった、事務所は同町舊警察署裏の平公共職業安定所巡回相談所に內定、擔當區域は小名濱、江名、豐間、鹿島の三町一カ村で業務內容は醫務、藥務、醫業類似行爲、助産婦、看護婦、保健婦、關係書類の受理、食品衞生、環境衞生、巡回指導、母子衞生など衞生面に關することは全面的に行うことになっている、平保健所からは會計係佐藤忠氏ほか四名の係員が行くことに決っているが同分室の擔當者氏名次の通り

◇佐藤忠（庶務、藥務醫務關係）◇技師引地和明（食品衞生關係）◇高玉至德（環境衞生關係）◇保健婦坂本トメ遠藤美喜子（巡回指導母子衞生）

油不足 動けない船

三日半の配給油が一日分

▽…漁期の永かったサンマ漁もようやく終了しつゝある、このため一部の船を除いては何れも底曳や延繩に移り地味な漁法をたどることになったが特に漁船群の動力源である燃料油が花形のサンマ漁に傾けてしまった後だけにこれからの油不足は本縣水産界にとって最も大きな問題となって來た

▽…一月から基本とリンクの二本建になった油配給は今までのように魚をとって來ただけ油を貰える方法と異なり漁の有無にかかわらず五十パーセント（一馬力當り約一・二キロ）は各船に行くことになったので何れも油は必要量より下廻り油事情は中途半端な狀態となった、三日半の配給油で船の稼動は僅か一日と云うことになり手持油のなくなった各船主はいよいよ油不足が深刻となり配給元の資材調整事務所の各ハマ出張所自体もこのままでは〃動けない漁船〃が相當出るのではないかと認めている始末である

▽…このため業者代表は關係官廳に現狀打開のため猛陳情を行っているがなかなか思うように行っていない、業者（底曳）の中にはこの打開策として次の諸點を實行するより外ないと見ているものが多い

△無許可船の徹底的な取締りの勵行△能率船を殘して低能率船の大幅な整理斷行そのうち自然淘汰されて行くだろうと云うにある

前年より十七万貫の増

小名の先月出荷

農林省縣資材調整事務所小名濱出張所への報告によると小名濱の底曳並に旋網兩協組の十二月中のリンク制水産物の出荷貫數は次の通り（底曳協組）△鮮魚一五、七一四貫△冷凍四、九五五貫△加工品七三、九二六貫（縣旋網協組）△鮮魚一、一六五貫△あきざめ二六、三六〇貫△丸干鰮さんま五九貫△鹽干さめ一、七一一貫△燒ざめ一三、八五三貫で前年同期より十七万貫增となっている

☆……☆

今週の潮

☆……☆

	滿潮	滿潮	干潮	干潮
十七日	五、二五分	一四、三五分	九、三五分	二一、三五分
十八日	五、五五分	一五、二〇分	一〇、三〇分	二二、一〇分
十九日	六、二五分	一六、一五分	一一、〇〇分	二三、二五分
二十日	六、三〇分	一六、五五分	一一、四〇分	
廿一日	七、〇〇分	一七、四〇分	〇、二五分	一二、二〇分
廿二日	七、三五分	一八、二五分	〇、五五分	一三、〇〇分
廿三日	七、四五分	一九、一〇分	一、〇五分	一三、二五分

内外有名會社
各種時計
船舶用時計
在庫豊富取揃えてあります
修理は正確と迅速をモットーとしております
松原時計店
小名濱町本町
電話二八三番

新裝！
貴女がキットお氣に召す新らしい美容室
平市銀座通り
メイ美容室

ぢ疾でお困りの方にぜひおすゝめしたい
評判の專門藥が御座居ます
どうぞ一度御來談下さい
藥は信用第一
信賴して御相談下さい
小名濱町本町
ダルマ藥局
電話三三番

婚禮用の
綿とふとん
格安調製
平市新川町
鈴木製綿店
電四二二番

…寒さの御用心…
神經痛 リウマチス 百日咳
感冒 肺炎 風咳の季節に
良く効く
塗布及濕布藥內服藥
を御利用下さい
藥局
あこう
平市田町銀座 電44

三馬弘進
水産用ゴム製品
主要製品
ゴム靴．ゴム合羽類
地下足袋．布靴類
三馬弘進ゴム株式會社
代理店 小島ゴム店
小名濱町第一小學校前
電話三四〇番
豫約登錄は皆さまに評判の良い品質本位の三馬弘進ゴムへ